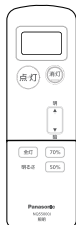


取扱説明書

ウィズリモ / 高天井人センサ付 兼用送信器

品番：NQ5500J



※高天井用センサ付器具の設定方法は
QRコードでご確認ください



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

- 適合商品は送信器、適合照明器具の承認図でご確認ください

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告

- 乾電池をショートさせたり、火中に投入しない
発熱・破裂によるけがの原因となります
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜたり、指定以外の乾電池を使用しない
液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがの原因となります

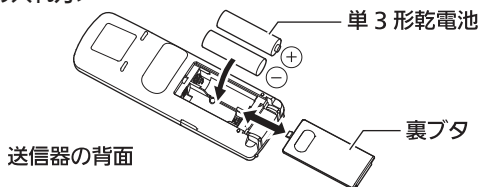
万一、乾電池が液もれしたときは・・・

- 液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください
- 目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずすぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください

使用上のご注意

- ・ 分解したり、修理、改造しない。また、落としたり、水をかけたりしない
故障や破損の原因になります
- ・ 送信器を長時間使用しない場合や、乾電池を使い切ったときは、乾電池を送信器から取り出してください
長時間放置すると、電池が液もれを起こす場合があります
- ・ 送信器の液晶表示がうすくなり、操作がおこないづらくなったときは、乾電池の交換をおこなってください
- ・ 基本的な操作は、フタを開けずにおこなってください

<電池の入れ方>

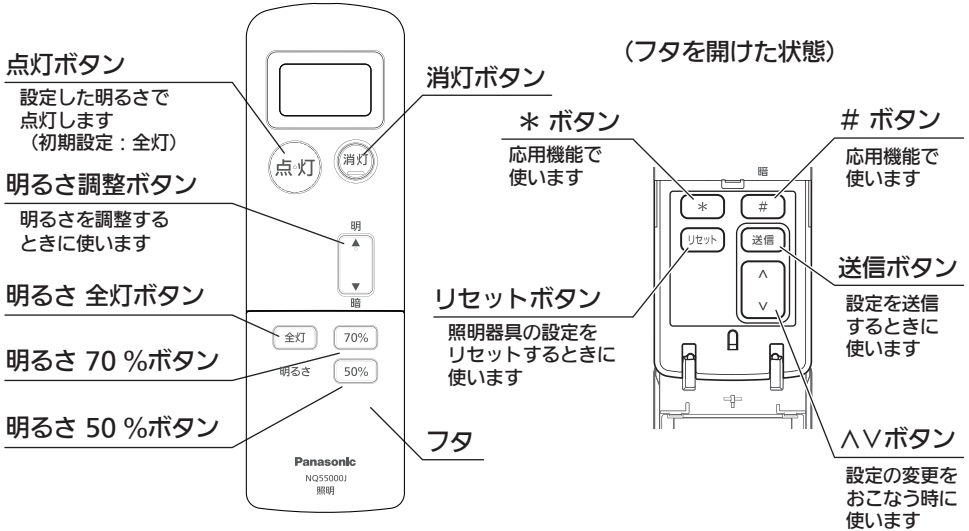


同梱品

- ・ 取扱説明書（本書）
- ・ 専用ホルダ
- ・ 専用ホルダ取付用木ねじ（2本）
- ・ 単3形マンガン乾電池（2個）

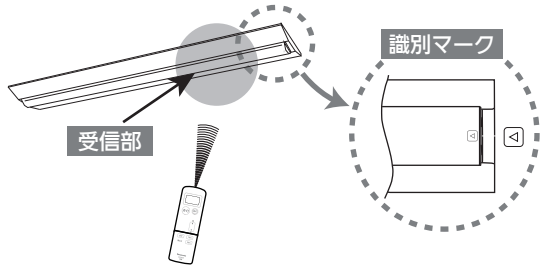
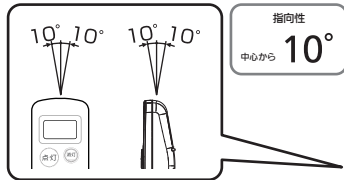
各部の名前とはたらき

基本的な操作は、フタを開けずにおこなうことができます



送信操作について

信号の出る範囲 (目安)



※ 壁、床の反射などにより、範囲外でも受信することがあります
受信部は視認できませんが、中央と識別マークの中間の位置にあります

- ・ 送信器を照明器具に向けて操作してください
- ・ 器具を個別で操作したい場合は、送信器で、器具の真下から器具の中央から識別マークの中間 (受信部) を狙って操作してください
- ・ 照明器具の設置間隔が狭い場合、近くの照明器具が反応する場合があります
- ・ 照明器具と送信器との間に信号をささぎるものがあると動作しません
- ・ 太陽光などの赤外線を多く含む光が照明器具に直接入射する場合、または周囲温度が低い場合は、動作しにくいことがあります

※高天井人センサ付器具の設定方法は
QRコードでご確認ください



明るさを調整する

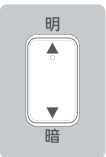
● 照明器具の明るさを見ながら調整する場合

1



好みのボタンを選択する

2

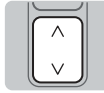


『明るさ調整ボタン』で明るさを微調整する

- ・照明器具の明るさを調整する度に照明器具は明るさを記憶します
- ・『消灯ボタン』で照明器具を消灯した後、『点灯ボタン』を押すと記憶した明るさで点灯します
- ・壁スイッチを OFF した後に壁スイッチを ON すると記憶した明るさで点灯します
- ・『消灯ボタン』で照明器具を消灯した後、電源スイッチを OFF し、次に電源スイッチを ON した時は、照明器具は消灯したままになります
- ・『明るさ調整ボタン』で照明器具を消灯させた後に、『点灯ボタン』を押した時は、下限点灯をおこないます

● 決まった明るさで調整する場合

1



フタを開け『^vボタン』を押して好みの明るさを決定する



初期表示の100%からボタン操作で調光率が変更されます

2



照明器具の中央部に向けて、『送信ボタン』を押す



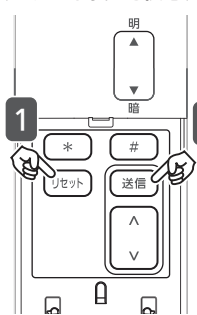
送信中は送信アイコンが表示されます

よくあるお問い合わせ

- | | | |
|---------------------|-----------------------------------|-------|
| Q：隣接した照明器具を反応させたくない | A：アドレスを設定する | →応用①※ |
| Q：一定時間経過後に消灯させたい | A：消灯するまでの時間を設定する | →応用②※ |
| Q：赤外線信号を受信させたくない | A：赤外線信号を受信できない設定にする | →応用③※ |
| Q：明るさやアドレスがわからなくなった | A：リセット操作後、明るさの調整とアドレス設定をおこなってください | |

● リセット操作をおこなう場合

(フタを開けた状態)



1



フタを開け「リセット」が表示されるまで『リセットボタン』を長押しする



2



照明器具の中央部に向けて『送信ボタン』を押す



送信中は送信アイコンが表示されます

リセットした照明器具は、一旦下限点灯した後に100%点灯します

- ・明るさが変化しない場合は応用③の赤外線信号を受信できる設定に変更してから再度、リセット操作をおこなってください
- ・リセット後、照明器具はアドレス1に戻ります 送信機のアドレスは変更されません

困ったときは

こんなとき	原因	処置方法
照明器具が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源スイッチがOFFになっている ・送信器で消灯した後、電源スイッチをOFFにしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・電源スイッチをONにしてください ・電源スイッチをONにした後、送信器で点灯ボタンを押してください
変化して欲しくない周辺の照明器具も一緒に明るさが変化している	赤外線信号を受信している受信部を狙って操作していない	方法①送信操作についてに従って操作をおこなってください 方法②照明器具、送信器のアドレスを設定してください →応用①※
送信器で照明器具の明るさを変更できない	適合しない照明器具と組み合わせて使用している	適合の照明器具をご使用ください
	通信範囲外から操作している	照明器具の真下で設定・操作を行ってください
	赤外線信号を受信できない設定になっている	赤外線信号を受信できる設定に変更してください →応用③※
	アドレスが一致していない	照明器具、送信器のアドレスを設定し直してください →応用①※
送信器の液晶画面が表示されない	送信器の電池が正しく入っていない	送信器の電池を正しく入れてください
	送信器の電池が消耗している	<ul style="list-style-type: none"> ・送信器の電池を交換してください ・半年を目安に交換してください
液晶画面に「アドレス」「設定」「通信」「確認」「リセット」の文字が表示されている	意図せずに「*」もしくは「#」もしくは「リセット」ボタンを押した	フタを閉め、液晶画面表示が消えたことを確認してください
送信器や電源スイッチの操作をおこなっていないのに、特定の照明器具が消灯した	消灯するまでの時間を設定している →応用②※	特定の照明器具に向けて点灯ボタンを押してください 反応しない場合は、お問い合わせください

※応用機能①②③の設定方法は、QRコードで確認できます
(データダウンロード 取扱 (応用機能ガイド) を確認ください)



お手入れについて

- 石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください
- シンナーやベンジンやアルコールなどの揮発性の溶剤、みがき粉は変質・変色・痛みの原因となりますので使用しないでください